

鎌田茂雄教授略年譜

- 昭和二年十二月十日 神奈川県鎌倉市に生まる
- 昭和九年四月 鎌倉市立御成小学校入学
- 昭和十五年三月 鎌倉市立御成小学校卒業
- 昭和十五年四月 神奈川県立湘南中学校入学
- 昭和十七年三月 神奈川県立湘南中学校中退
- 昭和十七年四月 東京陸軍幼年学校入学
- 昭和二十年三月 東京陸軍幼年学校卒業
- 昭和二十年四月 陸軍予科士官学校入学
- 昭和二十年九月 敗戦により自然退学
- 昭和二十年十月 駒澤大学予科編入学
- 昭和二十三年三月 駒澤大学予科修了
- 昭和二十三年四月 駒澤大学文学部仏教学科入学
- 昭和二十六年三月 駒澤大学文学部仏教学科卒業
- 昭和二十八年五月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専門課程修士課程入学
- 昭和三十年三月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専門課程修士課程修了
- 昭和三十年四月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専門課程博士課程入学

- 昭和三十三年三月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専門課程博士課程修了
- 昭和三十三年四月 東京大学助手（東洋文化研究所）
- 昭和三十七年二月 文学博士の学位を東京大学より受く
- 昭和四十年四月 東京大学講師（東洋文化研究所）
- 昭和四十四年五月 東京大学助教授（東洋文化研究所）
- 昭和四十六年四月 東京大学大学院人文科学研究科担任を命ぜらる
- 昭和四十九年四月 東京大学教授（東洋文化研究所）
- 昭和五十年四月 東京大学大学院人文科学研究科委員を委嘱さる（五十二年三月まで）
- 昭和五十年四月 東京大学総合研究資料館運営委員会委員を委嘱さる（六十二年三月まで）
- 昭和五十一年四月 日本道教学会理事
- 昭和五十一年六月 日本学士院賞受賞
- 昭和五十一年七月 日本学術会議宗教学研究連絡委員会委員を委嘱さる（五十一年七月—五十二年五月、五十二年六月—五十五年五月、五十七年九月—五十九年八月）
- 昭和五十四年四月 東京大学広報委員会委員を委嘱さる（五十六年三月まで）
- 昭和五十六年三月 仏教伝道文化賞受賞
- 昭和五十七年四月 東京大学図書行政商議会委員を委嘱さる（五十九年三月まで）
- 昭和五十七年五月 財団法人松ヶ岡文庫理事
- 昭和六十三年三月 停年により東京大学教授退官
- 昭和六十三年四月 愛知学院大学教授（文学部）に任ぜらる

昭和六十三年五月 東京大学名誉教授の称号授与

平成七年三月 国際仏教学院設立準備委員（七年十二月まで）

平成七年六月 財団法人野間教育研究所理事

平成七年十二月 学校法人国際仏教学院理事

平成九年三月 愛知学院大学教授退任

平成九年四月 国際仏教学大学院大学教授

平成十二年四月 勲三等旭日中綬章を受章

平成十三年五月十二日 逝去（享年七十三歳）

非常勤講師

東京大学文学部、東京教育大学文学部、九州大学文学部、大阪大学文学部、富山大学人文学部、駒澤大学仏教学部、愛知学院大学文学部、大正大学仏教学部、国際仏教学大学院大学仏教学研究科の非常勤講師を併任する

海外出張（昭和四十五年―）

台湾、香港、大韓民国、マカオ、フランス、連合王国、ドイツ連邦共和国、イタリア、スイス、アメリカ合衆国、カナダ、インド、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、中華人民共和国、朝鮮民主主義人民共和国等に出張及び

調査・研修旅行を行う

鎌田茂雄教授著作目録

※ 著書、学術論文、書評のみ収録

一 著 書

(1) 『中國華嚴思想史の研究』

東京大学出版会 一九六五年三月

(2) 『仏教の人間観』

四、九、六一八、一四、五頁、図版七頁
曹洞宗宗務庁 一九六七年七月 二二三頁

(3) 『中国佛教思想史研究』

春秋社 一九六八年三月

(4) 『禅の人間観』 (精神開発叢書 六)

二、五、四二五、一七〇、一六頁
富山県教育委員会 一九六九年六月 一二五頁

(5) 『禅の人間観』

曹洞宗宗務庁 一九七〇年七月 五八頁

(6) 『禅源諸詮集都序』 (禅の語録 九)

筑摩書房 一九七一年十二月

(7) 『お経の聞き方』 (法事で知る人生の意味―)

二、三七五、三〇頁、図版二二頁
日本経営出版会 一九七三年五月 二〇三頁

(8) 『原人論』 (中国古典新書)

明德出版社 一九七三年十一月 一一九頁

(9) 『中國華嚴思想史の研究』 第二

東京大学出版会 一九七五年五月 六五二、一八、四頁

― 宗密教学の思想史的研究 ―

(10) 『現代人の仏教』 (無相の価値観とは―)

月刊ペン社 一九七五年十二月 二八一頁

- (11) 『観音経講話』 (仏典講話叢書 一) 月刊ペン社 一九七七年二月 七、四八八頁
- (12) 『仏陀の観たもの』 (講談社学術文庫 一七四) 講談社 一九七七年八月 一六二頁
- (13) 『白隠』 (日本の禅語録 一九) 講談社 一九七七年十月 四四六頁、図版「二」頁
- (14) 『中国仏教史』 (岩波全書 三一〇) 岩波書店 一九七八年九月 xiv、三六二、二七頁
- (15) 『日本仏教のふるさと』 (UP選書 一九二) 東京大学出版会 一九七八年十一月 iii、三二七頁
- (16) 『般若心経講話』 (仏典講話叢書 二) 月刊ペン社 一九七九年三月 二四八頁
- (17) 『華嚴五教章』 (仏典講座 二八) 大蔵出版 一九七九年五月 五一〇頁
- (18) 『禅とはなにか』 (講談社学術文庫 四〇九) 講談社 一九七九年七月 一九五頁
- (19) 『正法眼蔵随聞記講話』 (仏典講話叢書 三) 月刊ペン社 一九七九年八月 三〇八頁
- (20) 『中国の禅』 (講談社学術文庫) 講談社 一九八〇年八月 二二二頁
- (21) 『朝鮮仏教の寺と歴史』 大法輪閣 一九八〇年十一月 二六三頁
- (22) 『観音の道』 (現在に生きる条件―) 工作社 一九八〇年十二月 一六九頁
- (23) 『八宗綱要』 (仏教を真によく知るための本―) (講談社学術文庫) 講談社 一九八一年十月 四四一頁
- (24) 『中国仏教史』 第一卷 (初伝期の仏教―) 東京大学出版会 一九八二年一月 vii、四五五、xvii頁
- (25) 『維摩経講話』 (仏典講話叢書 四) 月刊ペン社 一九八二年一月 三六六頁
- (26) 『中国仏教の寺と歴史』 大法輪閣 一九八二年六月 二七〇頁
- (27) 『中国の寺・日本の寺』 (東方選書 一〇〇) 東方書店 一九八二年九月 二〇三頁
- (28) 『白隠 夜船閑話・藪柑子』 (禅の古典 一〇〇) 講談社 一九八二年九月 一二一頁

- (29) 『白隠 遠羅天釜』 (禅の古典 一一) 講談社 一九八二年九月 二四一頁
- (30) 『華嚴學研究資料集成』 東京大學東洋文化研究所 一九八三年三月
(東京大學東洋文化研究所報告)
vii、五九七頁
- (31) 『華嚴の思想』 講談社 一九八三年五月 二七八頁
- (32) 『中国仏教史』 第二卷 — 受容期の仏教 — 東京大学出版会 一九八三年六月 v、四六九、xv頁
- (33) 『観音経を読む — 観音三十三身が仕事・恋愛・健康など身近な悩みを解決する —』 P H P 研究所 一九八三年十一月 二一九頁
(21世紀図書館 二九)
- (34) 『天台思想入門 — 天台宗の歴史と思想 —』 講談社 一九八四年一月 二五七頁
(講談社学術文庫 六二六)
- (35) 『維摩経 — 沈黙の教え —』 (仏教を読む 九) 集英社 一九八四年三月 二六九頁
- (36) 『禪典籍内華嚴資料集成』 大蔵出版 一九八四年三月 五二五頁
(東洋文化研究所叢刊 第三輯)
- (37) 『維摩経入門 — 無我無心とはなにか —』 P H P 研究所 一九八四年八月 二二二頁
- (38) 『中国仏教史』 第三卷 — 南北朝の仏教 (上) — 東京大学出版会 一九八四年十一月
vi、五四七、一九頁
- (39) 『仏教のきた道 — 東アジア仏教の旅 —』 原書房 一九八五年八月 二五九頁
- (40) 『一遍 — 大地を往く —』 (高僧伝 一〇) 集英社 一九八五年十月 二五九頁
- (41) 『『今』に集中して生きよ』 講談社 一九八五年十二月 二二一頁

- (42) 『道蔵内仏教思想資料集成』
 (東洋文化研究所叢刊 第六輯)
 大蔵出版 一九八六年三月 四六六頁
- (43) 『中国の仏教儀礼』 (東洋文化研究所紀要別冊)
 大蔵出版 一九八六年三月 xi、一〇〇六、vi頁
- (44) 『法華経講話』上 (もんじゅ選書 一六)
 講談社 一九八六年三月 二五〇頁
- (45) 『法華経講話』中 (もんじゅ選書 一七)
 講談社 一九八六年四月 二四一頁
- (46) 『法華経講話』下 (もんじゅ選書 一八)
 講談社 一九八六年五月 二二三頁
- (47) 『五輪書』 (講談社学術文庫 七三五)
 講談社 一九八六年五月 二六三頁
- (48) 『お経のあげ方』
 アポリア出版 一九八六年五月 二一〇頁
- (49) 『禅の心剣の極意』
 柏樹社 一九八六年九月 二一六頁
- (50) 『行は一生不断 — 仏教の論とところ— 行—』
 東京美術 一九八六年九月 v、二二三頁
- (51) 『般若心経講話』 (講談社学術文庫 七五六)
 講談社 一九八六年九月 二五四頁
- (52) 『朝鮮仏教史』 (東洋叢書 一)
 東京大学出版会 一九八七年二月 三〇七、一一頁
- (53) 『正法眼蔵随聞記講話』
 講談社 一九八七年四月 三一七頁
- (54) 『山岳信仰 — 心身を清める—』 (信ずる心 七)
 集英社 一九八七年九月 二六七頁、図版「四」頁
- (55) 『中国四大霊山の旅 — 光の中の菩薩たち—』
 佼成出版社 一九八七年十二月 一八六頁
- (56) 『大乘起信論物語 — 中国仏教の実践者たち—』
 大法輪閣 一九八七年十二月 四九八頁

- (57) 『新羅仏教史序説』 (東洋文化研究所紀要別冊)
大蔵出版 一九八八年二月 四九四頁、図版「八」頁
- (58) 『華嚴の思想』 (講談社学術文庫 八二七)
講談社 一九八八年五月 二六〇頁
- (59) 『もつと孤独にもつと自由に 沢庵』
講談社 一九八九年十一月 二〇六頁
- (60) 『華嚴と密教』
北海道布教師会 一九八九年十二月
- (61) 『中国仏教史』 第四卷 一南北朝の仏教 (下) 一
東京大学出版会 一九九〇年二月 vi、四六二、xvii頁
- (62) 『維摩経講話』 (講談社学術文庫 九一九)
講談社 一九九〇年三月 三二三頁
- (63) 『禅の山河』
曹洞宗宗務庁 一九九〇年九月 九〇頁
- (64) 『観音経講話』 (講談社学術文庫 一〇〇〇)
講談社 一九九一年十一月 四七三頁
- (65) 『華嚴経物語』
大法輪閣 一九九一年十一月 二九〇頁
- (66) 『心の糧を求めて 一「菜根譚」に学ぶ一』
曹洞宗大本山総持寺出版部 一九九二年十月 一九六頁
- (67) 『こころの達人』
日本放送出版協会 一九九三年十二月 三〇九頁
- (68) 『法華経を読む』 (講談社学術文庫 一一二二)
講談社 一九九四年二月 四二八頁
- (69) 『白隠 一 夜船閑話・遠羅天釜・菽柑子一』
講談社 一九九四年三月 三五九頁
- (70) 『菜根譚 一 中国の人生訓に学ぶ一』
(NHK文化セミナー・心の探求)
日本放送出版協会 一九九四年四月
二二七頁、図版二頁
- (71) 『中国仏教史』 第五卷 一 隋唐の仏教 (上) 一
東京大学出版会 一九九四年六月 vi、五七二、xix頁
- (72) 『体と心の調節法 一 天台小止観物語一』
大法輪閣 一九九四年九月 三三三頁
- (一部再録) 『禅と身心論』
小林圓照編 ペリかん社 二〇〇一年六月 六一―九一頁

(叢書 禅と日本文化 七)

- (73) 『一休 ―風狂に生きる―』 (Refresh life series) 広済堂出版 一九九五年二月 二九六頁
- (74) 『観音経の教え ―弱い自分に克つところ―』 P H P 研究所 一九九五年三月 一九六頁
(P H P 文庫)
- (75) 『和訳 華嚴経』 東京美術 一九九五年八月 vii、二四一頁
- (76) 『現世の救い・観音経』上 日本放送出版協会 一九九五年十月 一九四頁
講談社 一九九五年十月 三〇〇頁
- (77) 『仏教伝来』 (Kodansha philosophia) P H P 研究所 一九九五年十一月 二五二頁
- (78) 『己れに克つ生き方
―「迷い」を断ち切る先哲のことば―』
(P H P 文庫)
- (79) 『現世の救い・観音経』 下 日本放送出版協会 一九九六年一月 一九六頁
人文書院 一九九六年二月 二二一頁
- (80) 『気の伝統 ―調息法を中心として―』 小林圓照編 ペリかん社 二〇〇一年六月
(一部再録) 『禅と身心論』 一一三―一四一頁
(叢書 禅と日本文化 七)
- (81) 『秘められた仏たち ―中国の仏教遺跡を訪ねて―』 中外日報社 一九九七年一月 二〇五頁
- (82) 『観音のきた道』 (講談社現代新書 一三四一) 講談社 一九九七年二月 二〇七頁
- (83) 『菜根譚 ―中国の人生訓に学ぶ―』 日本放送出版協会 一九九七年二月 三〇九頁
(NHKライブラリー 五〇)
- (84) 『仏のきた道 ―中国の仏教文化を探る―』 P H P 研究所 一九九七年十月

(PHP新書 二八)

二三三頁、地図「二」頁

(85) 『現代人の仏教』

講談社 一九九八年五月 二五四頁

(講談社学術文庫「二三三〇」)

(86) 『賢者の条件 — 禅僧は時代をどう生きたか—』

春秋社 一九九八年七月 vii、二二五頁

(87) 『こころの達人』〔初版本の改訂版〕

日本放送出版協会 一九九八年九月 二八八頁

(NHKライブラリー 八六)

(88) 『中国仏教史』第六卷 — 隋唐の仏教(下) —

東京大学出版会 一九九九年一月 vi、八四八、xxvi頁

(89) 『いのちの探求 — 大乘仏典に学ぶ—』上

日本放送出版協会 一九九九年四月 一七二頁

(90) 『いのちの探求 — 大乘仏典に学ぶ—』下

日本放送出版協会 一九九九年十月 一七〇頁

(91) 『いのちの探求』(NHKライブラリー 一一七)

日本放送出版協会 二〇〇〇年七月 三四〇頁

(92) 『心と身体の鍛錬法 — 沢庵に学ぶ—』

春秋社 二〇〇〇年十二月 二二六頁

(93) 『新中国仏教史』

大東出版社 二〇〇一年七月 vii、三二二頁

(94) 『体と心の調節法 — 天台小止観物語—』〔新装版〕

大法輪閣 二〇〇一年九月 三三二頁

二 共 著

(1) 『無限の世界観へ華嚴』(仏教の思想 六)

上山春平 梅原猛著 角川書店 一九六九年一月

二八二頁

(2) 『鎌倉旧仏教』(日本思想大系 一五)

田中久夫著 岩波書店 一九七一年十一月 五七六頁

(3) 『国訳一切経 和漢撰述部』 諸宗部四

平川彰著 大東出版社 一九七九年六月 三五四頁

- (4) 『お経 禅宗』
桜井秀雄著 講談社 一九八三年五月 二二八二頁
- (5) 『禅と合気道』
清水健二著 人文書院 一九八四年三月 一七四頁
(一部再録) 『禅と武道』
ぺりかん社 一九九七年十二月 二二九頁―二五〇頁
(叢書 禅と日本文化 六)
- (6) 『仏教聖地・五台山 ―日本人三蔵法師の物語―』
NHK取材班著 日本放送出版協会 一九八六年三月
二三五頁 図版一六枚
- (7) 『NHK大黄河』第四卷 ―仏陀の道―
NHK取材班著 日本放送出版協会 一九八七年二月
三二六頁 図版三二枚
玉城康四郎著 日本放送出版協会 一九八七年十月
二八九頁、図版二枚
- (8) 『華嚴経・維摩経』 (NHKこころをよむ)
田村圓澄著 学生社 一九八九年二月 一七四頁
- (9) 『韓国と日本の仏教文化』
(古代の日本と韓国 一〇)
松本栄一写真 毎日コミュニケーションズ
一九八九年二月 二二二頁
- (10) 『中国』第一卷 ―仏教東漸―
松本栄一写真 毎日コミュニケーションズ
一九八九年二月 二三四頁
- (11) 『中国』第二卷 ―聖山名刹―
松本栄一写真 毎日コミュニケーションズ
一九八九年二月 二三四頁
- (12) 『中国』第三卷 ―仏土復興―
松本栄一写真 毎日コミュニケーションズ
一九八九年二月 二二六頁
- (13) 『沢庵を語る』へ渡辺宝陽『日蓮を語る』と共
日本放送出版協会 一九九〇年二月 一四八頁

(NHKこころをよむ)

- (14) 『韓国美術の伝統』(古代の日本と韓国 一一)
金子量重「ほか」著 学生社 一九九〇年十月 一七九頁
- (15) 『巡礼の構図 — 動く人びとのネットワーク—』
山折哲雄「ほか」著 NTT出版 一九九一年三月
二九四頁
(Books in-form)
- (16) 『韓国古寺巡礼』新羅篇
NHK取材班著 日本放送出版協会 一九九一年三月
一五六頁
- (17) 『韓国古寺巡礼』百濟篇
NHK取材班著 大村次郷写真 日本放送出版協会
一九九一年五月 一五六頁
- (18) 『鎌倉旧仏教』
田中久夫著 岩波書店 一九九五年八月 五七六頁
- (19) 『無限の世界観(華嚴)』(角川文庫ソフィア)
上山春平著 角川書店 一九九六年十月 三三八頁
- (20) 『故宮』二 — 至宝が語る中華五千年—
陳舜臣 NHK取材班著 日本放送出版協会
(NHKスペシャル)
一九九六年十二月 二九五頁
- (21) 『仏の教え』
中村元 増谷文雄著 リブリオ出版 一九九七年四月
二六九頁
- (22) 『「気」と呼吸法』
帯津良一著 春秋社 一九九九年七月 一九六頁

三編 著

(1) 『中国仏教史辞典』

東京堂出版 一九八一年九月 四五〇頁

(2) 『正倉院への道』

松本清張編 日本放送出版協会 一九八一年十一月

(3) 『地獄の世界』

二六三頁

坂本要編 北辰堂 一九九〇年十二月

iii、七五一頁、図版八枚

(4) 『講座仏教の受容と変容』四 — 中国篇 —

佼成出版社 一九九一年十月 二八四頁

(5) 『講座仏教の受容と変容』五 — 韓国篇 —

佼成出版社 一九九一年十一月 二五二頁

(6) 『中日佛教学术会议论文集 (1985-1995)』

楊曾文編 中国社会科学出版社 一九九七年五月

五、八、四八九頁 図版「二」頁

(7) 『禅と武道』(叢書 禅と日本文化 六)

ぺりかん社 一九九七年十二月 三六一頁

(8) 『大蔵経全解説大事典』

河村孝照「ほか」編 雄山閣 一九九八年八月

一〇、一〇七頁

四 論 文

(1) 仏性論の三性説について

『印度学仏教学研究』二卷二号 一九五四年三月

一七一—一七二頁

(2) 有無・真実としての絶対者の把握

『駒沢哲学』二号 一九五五年三月 九—一一頁

(3) 如所有性 yathavadbhāvīkāta と尽所有性

『印度学仏教学研究』三卷二号 一九五五年三月

yāvadbhāvīkāta

三〇六—三〇八頁

(4) 性起思想の成立

『印度学仏教学研究』五卷二号 一九五七年三月

一九五—一九八頁

- (5) 五十要問答心所有法義の基づく資料について
『印度学仏教学研究』六卷二号 一九五八年三月
二二七—二二〇頁
- (6) 法蔵撰華嚴經問答について
『印度学仏教学研究』七卷二号 一九五九年三月
二四一—二四七頁
- (7) 梁の武帝と隋の文帝
『宗教公論』二九卷五・一〇号 一九五九年六・十二月
一四—二〇頁、二一—二七頁
- (8) 新道教の形成におよぼした禪の影響
『宗学研究』二号 一九六〇年一月 一五三—一六〇頁
- (9) 華嚴哲学の根本的立場
—法蔵における実践の解明—
『華嚴思想』法蔵館 一九六〇年二月 四一七—四四九頁
- (10) 華嚴学の典籍および研究文献
『華嚴思想』法蔵館 一九六〇年二月 四八五—五二四頁
- (11) 華嚴思想史よりみた遼代密教の特質
『印度学仏教学研究』八卷二号 一九六〇年三月
二四—二四六頁
- (12) 澄観における禪思想の形成 —牛頭禪の相承—
『印度学仏教学研究』九卷二号 一九六一年三月
七三—七八頁
- (13) 澄観の華嚴と老荘思想
『駒澤大学仏教学部研究紀要』一九号 一九六一年三月
七八—九三頁
- (14) 中唐の仏教の変動と国家権力
『東洋文化研究所紀要』二五冊 一九六一年十一月
二〇—二四五頁
- (15) 中国禪思想史にあらわれた無情仏性思想
『宗学研究』四号 一九六二年三月 五一—五七頁

- (16) 華嚴思想史におよぼした僧肇の影響
『印度学仏教学研究』一〇巻二号 一九六二年三月
五一―五六頁
- (17) 道生の頓悟思想とその展開
―華嚴思想との関連をめぐって―
『駒澤大学仏教学部研究紀要』二〇号 一九六二年三月
三五―四八頁
- (18) 宝蔵論の思想史的意義
『宗教研究』三五巻四輯 一九六二年三月
二一―四六頁
- (19) 智儼の宗教の思想史的役割
―仏教の中国的変容をめぐって―
『駒澤大学仏教学部研究紀要』二二号 一九六二年十月
一六九―一九〇頁
- (20) 宝蔵論と三論元旨
『印度学仏教学研究』一一巻二号 一九六三年三月
二六〇―二六三頁
- (21) 道教教理の形成におよぼした仏教思想の影響
―道教義枢を中心として―
『東洋文化研究所紀要』三一冊 一九六三年三月
一六五―二四〇頁
- (22) 亡名息心銘考 ―中国における禅思想形成の一側面―
『宗学研究』五号 一九六三年四月 六〇―六四頁
- (23) 華嚴思想の形成に果たした空観の役割
『密教文化』六四・六五合併号 一九六三年十月
二四―三七頁
- (24) 近代中国思想と仏教
『宗教研究』三七巻二輯 一九六四年一月 七七―七八頁
- (25) 清涼澄観の心性説
『駒澤大学仏教学部研究紀要』二三号 一九六四年三月
七二―八五頁
- (26) 浄影寺慧遠における大乘思想の展開
『東洋文化研究所紀要』三四冊 一九六四年三月

- (27) 究竟大悲經について
一—一〇六頁
『印度学仏教学研究』一二卷二号 一九六四年三月
八六—九一頁
- (28) 三論元旨について — 仏道両思想融合の一例 —
『仏教思想史論集 — 結城教授頌壽記念 —』大蔵出版
一九六四年三月 四八一—五〇〇頁
- (29) 北周廢仏と禪
『宗学研究』六号 一九六四年四月 六〇—六五頁
- (30) 杜光庭「太上老君說常清淨經註」について
『宗学研究』三八卷二輯 一九六五年三月
一〇九—一一一頁
- (31) 中国南北朝時代の華嚴研究序説
『駒澤大学仏教学部研究紀要』二三号 一九六五年三月
七五—八七頁
- (32) 華嚴經のめざすもの
『理想』三八八号 一九六五年九月 九—一六頁
- (33) 法界縁起について
『宗学研究』三九卷三輯 一九六五年十月 六二—六四頁
- (34) 海印三昧について
『駒澤大学仏教学部研究紀要』二四号 一九六六年三月
三五—五一頁
- (35) 浄影寺慧遠の法觀念
『印度学仏教学研究』一四卷二号 一九六六年三月
九八—一〇三頁
- (36) 道性思想の形成過程
『東洋文化研究所紀要』四二冊 一九六六年十一月
六一—一五七頁
- (37) 華嚴經普賢觀行法門について
『駒澤大学仏教学部研究紀要』二五号 一九六七年三月

(38) 仏性と道性

二九—四三頁
『印度学仏教学研究』一五卷二号 一九六七年三月
五五—六〇頁

(39) 道蔵本『無生訣経』にあらわれた禪宗資料

『宗学研究』九号 一九六七年三月 四五—五一頁
『仏教一般』駒澤大学仏教学研究室編 更生社

(40) 中国の仏教

一九六七年四月 七五—一二六頁

(41) 妄尽還源觀の思想史的意義

『南都仏教』二〇号 一九六七年六月 一一—一六頁
『講座東洋思想』第六卷 一仏教思想Ⅱ—

(42) 中国の華嚴思想

宇野精一「ほか」編 東京大学出版会 一九六七年八月

一七七—二二六頁

(43) 臨濟禪

『講座東洋思想』第一〇卷 一東洋思想の日本的展開—
宇野精一「ほか」編 東京大学出版会 一九六七年九月

一二—一三七頁

(44) 中国仏教の成立

『宗教』窪徳忠 西順蔵編(中国文化叢書 六)
大修館書店 一九六七年十二月 七一—九一頁

(45) 三論宗・牛頭禪・道教を結ぶ思想的系譜

—草木成仏を手がかりとして—
『駒澤大学仏教学部研究紀要』二六号 一九六八年三月
七九—八九頁

(46) 初唐における三論宗と道教

『東洋文化研究所紀要』四六冊 一九六八年三月
四九—一〇八頁

- (47) 空觀の中国的変異
『印度学仏教学研究』一六卷二号 一九六八年三月
四八―五三頁
- (48) 玄珠録の思想
『宗教学研究』四一卷三輯 一九六八年三月
一四六―一四七頁
- (49) 初期禪宗の老莊批判
『宗学研究』一〇号 一九六八年三月 五八―六四頁
- (50) 中国禪の成立
『在家仏教』一七六号 一九六八年十一月 六一―二二頁
- (51) 沖繩の宗教 ―歴史と現状―
『別冊あそか ―近代宗教一〇〇年の証言―』
あそか出版社 一九六八年十一月 二〇三―二〇六頁
- (52) 法蔵『華嚴五教章』
『日本の仏典』武内義範 梅原猛編
(中公新書 一七九) 中央公論社 一九六九年二月
一三三―一三三頁
- (53) 道教經典にあらわれた唯心説
『駒澤大学仏教学部研究紀要』二七号 一九六九年三月
三八―四九頁
- (54) 中国禪思想形成の教学的背景
―大乘起信論を中心として―
『東洋文化研究所紀要』四九冊 一九六九年三月
四三―一六頁
- (55) 玄珠録にあらわれた仏教思想
―仏道両思想の交流をめぐって―
『中国学誌』第五本 道教專号 一九六九年四月
一一九―一四三頁
- (56) 隋唐時代における儒仏道三教
『歴史教育』一七卷三号 一九六九年七月 二二―二七頁
- (57) 法界義鏡の教理史的意義
『禅学研究』五八号

(58) 華嚴法界義鏡について

— 禅と東洋思想の諸問題 福嶋俊翁教授喜寿記念特集 —
一九七〇年三月 四九—六四頁

(59) 中国華嚴学よりみた法界義鏡の特質

『宗教研究』四三卷三輯 一九七〇年三月 七六—七七頁
『東洋文化研究所紀要』五二冊 一九七〇年三月

三七—一三七頁

(60) Cultural exchange between India,

India's contribution to world thought and culture.

China and Japan

Vivekananda Rock Memorial Committee, Madras,

Oct. 1970. p. 315-324.

(61) 中国仏教の展開と東アジア仏教圏の成立

『岩波講座世界史』六 — 古代六

東アジア世界の形成Ⅲ・内陸アジア世界の形成—

岩波書店 一九七一年一月 一二五—一五九頁

(62) 華嚴経の思想史的意義(一)・(二)

『三蔵 — 国訳一切経印度撰述部月報—』二三・二四号

一九七一年一月

(再録)

『三蔵集 — 国訳一切経印度撰述部月報—』第一輯

芹川博道編 大東出版社 一九七五年十月

二〇一—二二五頁

(63) 華嚴教学の成立と崩壊

『金光教報』一六六七号 一九七一年八月 二—一八頁

(64) 万曆四年刊禅源諸詮集都序について

『東洋文化研究所紀要』五八冊 一九七二年三月

一六五—一九四頁

- (65) 台湾の仏教儀礼(二) — 朝暮課誦について —
『印度学仏教学研究』二〇巻二号 一九七二年三月
一〇三—一〇六頁
- (66) 南都教学の思想的特質
— 新著「鎌倉旧仏教」に因んで —
『駒澤大学大学院仏教学研究會年報』六号
一九七二年三月 一—九頁
- (67) 禅思想の形成と展開
『禅研究所紀要』二号 一九七二年八月 七—一八七頁
- (68) 円覚経惟愨疏について
『仏教思想論叢 — 佐藤博士古稀記念 —』一
山喜房仏書林 一九七二年十月 四八—一四九頁
- (69) 台湾の仏教儀礼(二) — 華嚴七仏儀について —
『印度学仏教学研究』二二巻一号 一九七二年十二月
一一六—一一九頁
- (70) 台湾仏教の一断面 — 「円頓心要」について —
『宗教研究』四六巻三輯 一九七三年三月
一四〇—一四一頁
- (71) 日本華嚴における正統と異端
『思想』五九三号 一九七三年十一月 六二—七七頁
— 「鎌倉旧仏教」における明恵と凝然 —
- (72) 台湾の仏教儀礼 — 念仏法会について —
『インド思想と仏教 — 中村博士還暦記念論集 —』春秋社
一九七三年十一月 四二七—四三九頁
- (73) 東大寺華嚴学の特質
— 『華嚴宗要義』をめぐって —
『南都仏教』三二号 一九七三年十二月 一五—二四頁
- (74) 香港の仏教儀礼 — 大悲懺法について —
『印度学仏教学研究』二三巻一号 一九七三年十二月
二八一—二八四頁

- (75) 法界縁起と存在論
『講座仏教思想』第一巻 — 存在論・時間論 —
三枝充憲「ほか」著 理想社 一九七四年四月
九五—一三六頁
- (76) 朗遊教学におよぼした宗密の影響
— 『華嚴香水源記』五教義をめぐる —
『禅文化研究所紀要』六号 一九七四年五月
一七七—一八五頁
- (77) 中国庶民における仏教倫理の受容
— 在家授戒会をめぐる —
『仏教の倫理思想とその展開』 壬生台舜編
大蔵出版 一九七五年三月 一九九—二一九頁
- (78) 中国仏教圏の形成 — その歴史と現状 —
『東洋学術研究』一四卷三号 一九七五年五月
一—一六頁
- (79) 現代に問いかける仏教的価値観
『東洋学術研究』一四卷四号 一九七五年七月
四六—六六頁
- (80) 海印寺の朝 — 韓国仏教の一断面 —
『禅思想とその背景』 — 岡本素光博士喜寿記念論集 —
春秋社 一九七五年七月 三九—三九七頁
- (81) 韓国の宗教事情について
— 韓国仏教の歴史と現状 —
『宗務時報』(文化庁)三五号 一九七五年九月
一三—二三頁
- (82) 圭峯宗密の法界観
『仏教における法の研究』 — 平川彰博士還暦記念論集 —
春秋社 一九七五年十月 三五—三六七頁
- (83) 華嚴教学における止観
『止観の研究』関口真大編 岩波書店
一九七五年十一月 二六九—二八六頁

- (84) 圭峯宗密の教判論
『仏教研究論集』（橋本博士退官記念）清文堂
一九七五年十一月 三五三―三六三頁
- (85) 明恵
『日本宗教史の謎』上 和歌森太郎編 佼成出版社
一九七六年二月 二五三―二六一頁
- (86) 華嚴教学における正統と異端
『仏教学セミナー』二三号 一九七六年五月
八四―九八頁
- (87) 中国仏教圏の形成
『人間と文化』新書編纂委員会編（三愛新書 第三集）
三愛会 一九七六年七月 九七―一三九頁
- (88) 観音を観る
『理想』五二〇号 一九七六年九月 九五―一〇九頁
- (89) 禅思想の形成と展開
『禅の世界』愛知学院大学禅研究所編（禅研叢書）
其弘堂書店 一九七六年十月 七一―九八頁
- (90) 華嚴教学における善と悪
『仏教思想』二 ― 悪― 仏教思想研究会編 平楽寺書店
一九七六年十一月 二二五―二二九頁
- (91) 華嚴普賢行願修証儀の研究
『禅研究所紀要』六・七合併号 一九七六年十二月
三〇五―三二七頁
- (92) 南北朝仏教思想史概観
『東洋文化』五七号 一九七七年三月 一七一―一九四頁
- (93) 江戸仏教の社会的機能の一考察
『仏教の社会的機能に関する基礎的研究』古田紹欽編
創文社 一九七七年五月 二〇七―二二七頁
- (94) 中国仏教の仏身観
『仏の研究 ― 玉城康四郎博士還暦記念論集―』春秋社

- (95) 仏光三昧観の実践方法
一九七七年十一月 三〇五―三一八頁
『仏教の実践原理』関口真大編 山喜房仏書林
一九七七年十二月 二三九―二五二頁
- (96) 白隠の仏教学
『宗教研究』五一巻三輯 一九七七年十二月
一一二―一二三頁
- (97) 儒道の気と仏教 ―宗密における気―
『気思想 ―中国における自然観と人間観の展開―』
山井湧編 東京大学出版会 一九七八年三月
三三三―三五一頁
- (98) 奈良期における中国・朝鮮仏教
『大法輪』四五巻七号 一九七八年七月
一三九―一四五頁
- (99) 中世の無常観 ―鎌倉仏教をめぐって―
『教養講座シリーズ』三二 国立教育会館編 ぎょうせい
一九七八年十月 一一九三頁
- (100) 鑑真がもたらした文化と文物
『鑑真と唐招提寺を訪ねる旅』(Sun mook 四号)
太陽社 一九七八年十二月 一一八―一二九頁
- (101) 仏教思想の道教的改変
『仏教の比較思想論的研究』玉城康四郎編
東京大学出版会 一九七九年二月 四八一―五〇九頁
- (102) シンガポールの仏教儀礼
『印度学仏教学研究』二七巻二号 一九七九年三月
一〇二―一〇七頁
- (103) 『猿法語』の世界
『日中語文交渉史論叢 ―渡辺三男博士古稀記念―』

(再録)

(104) 新羅元暁の唯識思想

桜楓社 一九七九年四月 七四五―七五六頁

『禪と身心論』小林圓照編(叢書 禪と日本文化 七)

ペリかん社 二〇〇一年六月 一九五―二〇七頁

『仏教学論文集』伊藤真城 田中順照両教授

頌徳記念―高野山大学仏教学研究室編

東方出版 一九七九年十一月 三四九―三六四頁

(105) 『北山録』訳注(一)

『東洋文化研究所紀要』八一冊 一九八〇年三月

一七九―二五七頁

(106) 東アジア仏教圏の成立

『長安から平城へ』江上波夫「ほか」編

(八世紀の日本と東アジア 三) 平凡社 一九八〇年三月

一一七―一三九頁

(107) 中国仏教の実践形態 ―念仏法会について―

『日本仏教学会年報』四五号 一九八〇年三月

二四七―二五八頁

(再録)

『仏教における修行とその理論的根拠』平樂寺書店

一九八〇年十月 二四七―二五八頁

(108) 朝鮮仏教の特質

『大乘仏教《歴史編》』金岡秀友編 佼成出版社

一九八〇年四月 一五二―一五九頁

(109) 華嚴教学と道元

『講座道元』VI ―仏教教学と道元― 玉城康四郎 早島

元隆編 春秋社 一九八〇年六月 二五―四九頁

- (110) 仏教学 — 朝鮮 —
『現代仏教を知る大事典』 金花舎 一九八〇年七月
五二一—五二六頁
- (111) アジア仏教の現状 — 台湾 —
『現代仏教を知る大事典』 金花舎 一九八〇年七月
七二五—七二八頁
- (112) アジア仏教の現状
— 香港・シンガポール・マレーシア・その他 —
『現代仏教を知る大事典』 金花舎 一九八〇年七月
七二八—七三二頁
- (113) 東洋的自然観
『遊学大全』 松岡正剛編 工作舎 一九八〇年七月
二四九—二五四頁
- (114) 中国における末法の自覚とその克服
『仏教思想』 五 — 苦 — 仏教思想研究会編 平樂寺書店
一九八〇年八月 二六五—二九〇頁
- (115) 南北朝の仏教
『朝鮮三国と倭国』 井上光貞「ほか」編
(東アジア世界における日本古代史講座 四) 学生社
一九八〇年九月 一五一—一七四頁
- (116) 朝鮮三国の仏教
『朝鮮三国と倭国』 井上光貞「ほか」編
(東アジア世界における日本古代史講座 四) 学生社
一九八〇年九月 一七五—一九六頁
- (117) 華嚴経 — 心の世界 —
『大乘仏典入門』 勝又俊教 古田紹欽編 大蔵出版
一九八〇年十月 九二—一二三頁
- (118) 高麗時代の仏教
『高麗仏画』 菊竹淳一 吉田宏志編 朝日新聞社

- (119) 釈華嚴教分記円通鈔の注釈的研究(一)
一九八一年二月 一—八頁
『東洋文化研究所紀要』八四冊 一九八一年三月
一—二四三頁
- (120) 『北山録』訳注(二)
『東洋文化研究所紀要』八四冊 一九八一年三月
二四五—二七八頁
- (121) 中国仏教儀礼の研究 —放水燈—
『印度学仏教学研究』二九卷二号 一九八一年三月
一一〇—一二三頁
- (122) 宗教儀礼の混淆形態
『宗教と社会』—小口偉一教授古稀記念論集—
春秋社 一九八一年三月 二七七—二八七頁
- (123) 華人社会の仏教儀礼
『東南アジア華人社会の宗教文化』窪徳忠編 耕土社
一九八一年四月 八七—一一一頁
- (124) 十門和諍論の思想史的意義
『仏教学』一一号 一九八一年四月 一一—二一頁
- (125) 後漢の仏教信仰 —黄老と浮屠—
『仏教の歴史的展開に見る諸形態』創文社
—古田紹欽博士古稀記念論集—
一九八一年六月 三二三—三三三頁
- (126) 東アジアの仏教儀礼
『東アジアにおける民俗と宗教』元興寺文化財研究所編
吉川弘文館 一九八一年八月 一—五一頁
- (127) 東南アジアの密教儀礼
『大乘仏教から密教へ』—勝又俊教博士古稀記念論集—
春秋社 一九八一年九月 八七五—八八五頁
- クアランプールの密教法会—

- (128) 覺洲鳩の華嚴集史観
- (129) 庶民信仰の展開
- (130) 高麗時代の朝鮮仏教
- (131) 釈華嚴教分記円通鈔の注釈的研究(二)
- (132) 『北山録』訳注(三)
- (133) 禪者の素型 — 泰山僧朗と降魔蔵 —
- (134) 位牌の源流 — 中国の先祖供養 —
- (135) 中国最古の摩崖仏 — 孔望山摩崖石像 —
- (136) 中国仏教儀礼の日本伝播
— 黄檗山万福寺を中心として —
- (137) 山岳宗教と華嚴力

- 『東洋文化研究所紀要』 八六冊
— 創立四十周年記念論集Ⅰ — 一九八一年十一月
一五三—一九一頁
- 『図説日本仏教の原像』 井ノ口泰淳「ほか」編 法蔵館
一九八二年三月 二九〇—三〇三頁
- 『図説日本仏教の原像』 井ノ口泰淳「ほか」編 法蔵館
一九八二年三月 三〇四—三〇七頁
- 『東洋文化研究所紀要』 八九冊 一九八二年九月
一—一六九頁
- 『東洋文化研究所紀要』 八九冊 一九八二年九月
一七一—二五〇頁
- 『仏教教理の研究 — 田村芳朗博士還暦記念論集 —』
春秋社 一九八二年九月 二二九—二四八頁
- 『宗教と現代』 四巻四号 一九八二年十月 八四—八九頁
- 『UP』 (東京大学出版会) 一二二号
一九八二年十二月 一—五頁
- 『日本華僑と文化摩擦』 山田信夫編 巖南堂書店
一九八三年一月 三九九—四一六頁
- 『神々と仏・祭りとマンダラ』 田中日佐夫「ほか」編著

- (138) 南都仏教の日本の特質
- (139) 唯心と性起
- (140) 海東華嚴の事跡 — 韓国寺院を訪ねて—
- (141) 禅の流れと武士道
- (142) 東アジアに生きた華嚴経
- (143) 朝鮮仏教
- (144) 釈華嚴教分記円通鈔の注釈的研究 (三) 之一
- (145) 東アジアにおける華嚴力の諸相
— 新羅華嚴と空海をめぐる—
- (146) 中国仏教研究の問題点

(art. japonese) 日本の美と文化 (四) 講談社

一九八三年一月 六五—七二頁

『教養講座シリーズ』四五 国立教育会館編 ぎょうせい

一九八三年五月 一—七六頁

『講座大乘仏教』三 — 華嚴思想— 平川彰「ほか」編

春秋社 一九八三年五月 二二三—二五八頁

『南都仏教』五〇号 一九八三年六月 六一—七八頁

『日本の武道』「二四」—修養「禅・儒・養生」—

講談社 一九八三年十月 一七—五九頁

『理想』六〇六号 一九八三年十一月 三一—三六頁

『仏教史』II — 中国・チベット・朝鮮— 玉城康四郎編

(世界宗教史叢書 八) 山川出版社 一九八三年十一月

二九九—四一七頁

『東洋文化研究所紀要』九四冊 一九八四年三月

一—一四頁

『弘法大師と現代』御遠忌記念出版編纂委員会編

筑摩書房 一九八四年三月 一九三—二〇四頁

『仏教研究入門』平川彰編 大蔵出版 一九八四年六月

一七九—一九四頁

- (147) 釈華嚴教分記円通鈔の注釈的研究(三)之二
『東洋文化研究所紀要』九五冊 一九八四年十一月
一九三—二〇四頁
- (148) 百済仏教の日本伝来
『馬韓・百済文化』七輯 一九八四年十一月
六一—七一頁
- (149) 仏教伝来経路再考
『仏教の歴史と思想——壬生台舜博士頌壽記念——』
大蔵出版 一九八五年二月 三八五—三九六頁
- (150) 高句麗仏教の開教者——白足和尚曇始——
『韓國文化』圓佛教思想
——文山金三龍博士華甲紀念——圓光大學校出版局
一九八五年十月 一一八頁
- (151) 新羅華嚴の思想史的意義
『韓國佛教學 SEMINAR』一号 一九八五年十二月
一一—二四頁
- (152) 現代中国の宗教事情
『宗務時報』(文化庁)七二号 一九八六年四月
二一一—二頁
- (153) 釈華嚴教分記円通鈔の注釈的研究(四)
『東洋文化研究所紀要』一〇二冊 一九八七年一月
一一—二二七頁
- (154) 中国仏教の人間観
『東洋における人間観』前田専学編 東京大学出版会
一九八七年二月 三九五—四一三頁
- (155) 慧萼伝考——南宗禅の日本初伝——
『松ヶ岡文庫研究年報』一号 一九八七年二月
二二—四七頁

- (156) シンガポールの仏教儀礼
— 仏教儀礼と道教儀礼の混淆 —
- (157) 秘められた韓国の寺々
- (158) シンガポールの仏教儀礼 — 一天功德 —
- (159) 禅と武道
- (160) 大乘起信論の訳出場所とその年代
— 起信論序の再検討 —
- (161) 七世紀アジア世界における元暁の位置
- (162) 中国の巡礼 — 四大仏教聖地の旅 —
- (163) 釈華嚴教分記円通鈔の注釈的研究(五)
- (164) 東アジアの仏教伝播

- 『道教と宗教文化』秋月観暎編 平河出版社
一九八七年三月 六六一—六七七頁
- 『朝鮮の古文化論讚 — 中吉先生喜寿記念 —』国書刊行会
一九八七年四月 一四五—一五七頁
- 『東南アジア華人社会の宗教文化に関する調査研究』
直江廣治 窪徳忠編 南斗書房 一九八七年四月
七一—一〇五頁
- 『佛教と諸科学 — 開校八十周年記念論叢 —』
東國大學校出版部 一九八七年四月 四六三—四七五頁
- 『インド学仏教学論集 — 高崎直道博士還暦記念論集 —』
春秋社 一九八七年十月 四八七—四九五頁
- 『元暁研究論叢 — ユ 哲學と 人間の 모은것 —』
韓國國土統一院調査研究室 一九八七年十月
七六七—七七三頁
- 『巡礼と文明』聖心女子大学キリスト教文化研究所編
(宗教文明叢書 一) 一九八七年十一月 五五—八一頁
- 『東洋文化研究所紀要』一〇四冊 一九八七年十一月
一—一八一頁
- 『日本の古代』第一三巻 — 心のなかの宇宙 —

(再録)

大林太良編 中央公論社 一九八七年十二月
三六一—三九二頁

(再刊) (中公文庫) 一九九六年十月

(165) 東アジア仏教文化圏をめぐる諸問題

『国際化と文化摩擦』日本経済調査協議会

一九八七年十二月 一一二—一二七頁

(166) 朝鮮並びに中国の仏教事情

『世界の仏教』自由仏教懇話会編 一九八七年十二月

八一—三二頁

(167) 朝鮮仏教

『岩波講座東洋思想』第一二巻 | 東アジアの仏教 |

高崎直道「ほか」編著 岩波書店 一九八八年六月

一六五—一八七頁

(168) 中国仏教

『仏教大事典』小学館 一九八八年七月

六七〇—六七二頁

(169) 朝鮮仏教

『仏教大事典』小学館 一九八八年七月

六七八—六七九頁

(170) かんこ踊りと白山信仰

『仏教行事歳時記』| 七月 夏祭り | 第一法規出版

一九八九年六月 一一三—一二〇頁

(171) 『華嚴経』唯心偈解釈の文献資料

『南都仏教』六一・六二号 | 唯心偈特集 |

一九八九年六月 一四六—一八二頁

(172) 法門寺出土仏指舎利考

『インド哲学と仏教 | 藤田宏達博士還暦記念論集 |』

- (173) 禅と武道の哲学 — 『不動智神妙録』と
『活人剣』を手がかりとして—
平楽寺書店 一九八九年十一月 五七七—五九二頁
『大倉山文化会議研究年報』一号 一九八九年十一月
一六一—一七〇頁
- (174) 『六祖壇経』と鈴木大拙
『六祖壇経의 世界 — 第九回國際佛教學術會議紀要—』
金知見編 民族社 一九八九年十二月
一〇五—一六頁
- (175) 禅と日本武道 (第一〇回研究報告会報告要旨)
『愛知学院大学人間文化研究所報』第一五号
一九八九年十二月 一一—一二頁
- (176) 賢首大師法蔵と法門寺
『印度学仏教学研究』三八卷一号 一九八九年十二月
二二—二三七頁
- (177) 日本華嚴における信満成仏の解釈
『松ヶ岡文庫研究年報』四号 一九九〇年三月
四九—五九頁
- (178) 剡県石仏と僧祐律師
『愛知学院大学文学部紀要』二〇号 一九九一年三月
三四五—三三五頁
- (179) 須弥山石窟と石空寺石窟
『大倉山文化会議研究年報』二号 一九九一年三月
九七—一〇六頁
- (180) 為霖道霈『華嚴経疏論纂要』の刊行と寄贈
『華嚴学研究』三号 一九九一年五月
一三七—一四三頁
- (181) 武周王朝における華嚴思想の形成
『第二届政教関係国際學術研討会論文集』鄭樑生主編

- 法蔵と則天武后との關係を中心として—
一九九一年六月
- (182) 凝然華嚴學の特質 —法界義鏡の思想史的意義—
『亞細亞에 있어서 華嚴의 位相
—第十回國際佛教學術會議紀要—』大韓傳統佛教研究院
東邦苑 一九九一年九月 六一—七三頁
- (183) 禪の山河
『印度哲學仏敎學』第六号 一九九一年十月
二四〇—二五七頁
- (184) 靈泉寺石窟の思想史的意義
『天台思想と東アジア文化の研究
—塩入良道先生追悼論文集—』山喜房仏書林
一九九一年十二月 四七七—四八八頁
- (185) 華嚴の世紀 —七・八世紀東アジアの仏敎交流—
『韓國學의 世界化
—第六回國際學術會議論文集(Ⅰ)—』
韓國精神文化研究院 一九九一年十二月
九九—一一三頁
- (186) 最近における中国仏敎史研究の状況
—新文物資料による照明と補正—
『一九九〇年佛光山國際學術會議論文集』
(佛光工具叢書 九五〇七) 佛光出版社
一九九二年二月
- (187) 中国における仏敎の伝播経路に関する実態調査
—平成二年度調査報告書—
『禪研究所紀要』二〇号 一九九二年三月 一—四〇頁
- (188) 劍川石窟の概況
『大倉山文化會議研究年報』三号 一九九二年三月

(189) 劍川石窟の思想史的意義

九一—一〇五頁

(190) 秘められた日中文化交流

七五—一〇一頁

—中国において碑文を撰書した日本僧—

『日本学』一九九号 一九九二年六月 六五—七二頁

(191) 華嚴思想の受容と変容

『一九九一年佛學研究論文集』鎌田茂雄「ほか」著

—中国華嚴より見た日本華嚴の特質—

『佛光文選叢書 五八〇六』佛光出版社 一九九二年九月

一六七—一八一頁

(192) 「清涼山記」攷

『興教大師覺鑿研究

—五台山における尊勝陀羅尼信仰—

—興教大師八百五十年御遠忌記念論集—』春秋社

一九九二年十二月 七九三—八〇九頁

(193) 二人の澄観 —泗州澄観と清涼澄観—

『印度学仏教学研究』四一卷一号 一九九二年十二月

八九—九六頁

(194) 南詔国の仏教

『松ヶ岡文庫研究年報』七号 一九九三年三月

一一九—一三七頁

(195) 南響堂石窟と水浴寺石窟

『大倉山文化会議研究年報』四号 一九九三年三月

二五—四三頁

(196) 九華山化城寺攷

『原始仏教と大乘仏教 —渡辺文麿博士追悼論集—』

下 前田惠學編 永田文昌堂 一九九三年五月

(197) 仏教

七九—九七頁

(198) 中国仏教聖地・九華山を開いた新羅僧

『中世史講座』八 — 中世の宗教と学問 — 木村尚三郎
「ほか」編 学生社 一九九三年六月 四四—七〇頁
『羅・唐仏教の再照明』

(199) 東アジア仏教史に及ぼした鳩摩羅什の影響

『第一一回国際仏教学術会議紀要』
大韓傳統佛敎研究院 一九九三年九月

(200) 華嚴教学におよぼした法華経の影響

『第五回日中仏教学術会議発表論文集』中外日報社
一九九三年十月 五二—五九頁

(201) 雲南華嚴の系譜

『法華経の受容と展開』田賀龍彦編（法華経研究 XII）
平楽寺書店 一九九三年十月 五七三—五九二頁

(202) 隴東石窟の全貌

『印度学仏教学研究』四二巻一号 一九九三年十二月
二九九—三〇三頁

(203) 中国における仏教の伝播経路に関する実態調査

『大倉山文化会議研究年報』五号 一九九四年三月
九五—一六頁

—平成三年度調査報告書—

『禅研究所紀要』二二号 一九九四年三月
九五—一三四頁

(204) 雲門文偃と大燈国師 —その遺誠を中心として—

『禅と人間 —正眼短期大学創立四十周年記念論集—』
正眼短期大学編 大東出版社 一九九四年十月
七九—九九頁

- (205) 唐代仏教と鳩摩羅什
 — 鳩摩羅什舍利塔をめぐる —
 『印度学仏教学研究』四三巻一号 一九九四年十二月
 二二四—二二九頁
- (206) 馬蹄寺石窟の全貌
 『松ヶ岡文庫研究年報』九号 一九九五年三月
 一〇七—一二三頁
- (207) 湖南省仏教寺院訪問記
 『禅研究所紀要』二三号 一九九五年三月
 一四一—一六一頁
- (208) 張掖大仏寺攷 — 西夏の仏教文物の一断面 —
 『大倉山文化会議研究年報』六号 一九九五年三月
 五九—八三頁
- (209) 隴東石窟の歴史的意義 — その仏教史的考察 —
 『佛教與中國文化國際學術會議論文集』下集
 中華文化復興運動總會宗教研究委員會編
 一九九五年七月 六五一—六六〇頁
- (210) 仏教の朝鮮伝播とその展開
 『月刊韓国文化』一九〇号 一九九五年九月 二—七頁
- (211) 東アジア仏教史におよぼした鳩摩羅什の影響
 『南都大安寺論叢』南都国際仏教文化研究所編 大安寺
 一九九五年十一月 五四—五五三頁
- (212) 現代に生きる氣の伝統
 『第一回宗教文化国際學術會議論文集』(英・日文版)
 仏光大学宗教文化研究中心 一九九六年一月
- (213) 西夏の法華経信仰 — 法華経変相図をめぐる —
 『勝呂信靜博士古稀記念論文集』山喜房仏書林
 一九九六年二月 四〇七—四一八頁
- (214) 唐代内道場攷
 『松ヶ岡文庫研究年報』一〇号 一九九六年三月

- (215) 錫克沁寺院址と千仏洞の概況
八七—九七頁
『大倉山文化会議研究年報』七号 一九九六年三月
五三—六八頁
- (216) 華嚴三聖像の形成
一〇一—一〇七頁
『印度学仏教学研究』四四卷二号 一九九六年三月
- (217) 一休骸骨 — 特異な仮名法語—
一〇〇—一〇五頁
『国文学 — 解釈と鑑賞—』六一卷八号 一九九六年八月
- (218) 一休の道歌
一〇六—一一一頁
『国文学 — 解釈と鑑賞—』六一卷八号 一九九六年八月
- (219) 玉泉寺攷
八一—八三五頁
『天台大師研究』天台学会 一九九七年三月
- (220) 湖北省仏教寺院訪問記
『禪研究所紀要』二五号 一九九七年三月
二八三—三〇九頁
- (221) 雲南・鶏足山訪問記
『大倉山文化会議研究年報』八号 一九九七年三月
二二—三三七頁
- (222) 韓国仏教文化の特質
『第一回日韓学術交流セミナー報告書』
日本大学総合科学研究所 一九九七年三月
一六—一八頁
- (223) 彭州知玄攷 — 中国法相宗史の一断面—
『仏教思想文化史論叢 — 渡邊隆生教授還暦記念—』

- (224) 宗密以後の華嚴宗
永田文昌堂 一九九七年六月 四一七―四三二頁
『華嚴學論集』鎌田茂雄博士古稀記念會編 大藏出版
一九九七年十一月 八三一―一〇一頁
- (225) 華嚴思想史より見た鶏足山の仏教
『印度學仏教學研究』四六卷一號 一九九七年十二月
一三五―二四一頁
- (226) 雲南・鶏足山の仏教
『國際仏教學大學院大學研究紀要』第一號
一九九八年三月 一―三四頁
- (227) 広元石窟訪問記
『大倉山文化會議研究年報』九號 一九九八年三月
一七五―一八九頁
- (228) 円覚十二菩薩の形成 ―『円覚経』の造像化―
『印度學仏教學研究』四七卷一號 一九九八年十二月
三八―四四頁
- (229) 大足宝頂山石刻の思想史的考察
―父母恩重経変図と
『國際仏教學大學院大學研究紀要』第二號
一九九九年三月 一―五五頁
- (230) 泉州南普陀寺考
『大倉山文化會議研究年報』一〇號 一九九九年三月
一〇一―一二二頁
- (231) 諸尊信仰の種々相
『中国密教』立川武蔵 頼富本宏編(シリーズ密教 二)
春秋社 一九九九年十一月 三〇三―三一四頁
- (232) アジアに現存する密教儀礼
『中国密教』立川武蔵 頼富本宏編(シリーズ密教 二)

- (233) 如浄 ―二百年來の禪師―
春秋社 一九九九年十一月 三二五―三二六頁
『国文学 ―解釈と鑑賞―』六四卷一二号
一九九九年十二月 五〇―五五頁
- (234) 南唐国の華嚴と禪
『松ヶ岡文庫研究年報』一四号 二〇〇〇年三月
六七―七三頁
- (235) 貴州・黔靈山の仏教
『国際仏教学大学院大学研究紀要』第三号
二〇〇〇年三月 一―二七頁
- (236) 玄奘と『般若心経』
『シルクロード・奈良国際シンポジウム記録集』五
―三藏法師・玄奘のシルクロード―その遺産と指針―
―なら・シルクロード博記念国際交流財団シルクロ―
ド研究センター 二〇〇〇年三月 二〇―二五頁
- (237) 華嚴と密教 (講演)
『智山学報』四九輯 二〇〇〇年三月 一―二九頁
- (238) 寒山寺攷
『松ヶ岡文庫研究年報』一五号 二〇〇一年三月
一五一―一六四頁
- (239) 唐末宋初の華嚴と密教
―安岳石窟を手がかりとして―
『国際仏教学大学院大学研究紀要』第四号
二〇〇一年三月 一―一九頁
- (240) 華嚴における自然
『自然法と宗教』Ⅱ 水波朗「ほか」編
(自然法研究 七) 創文社 二〇〇一年六月 三一―二頁
- (241) 仏教の自然観
『仏教の生命倫理』研究代表…今西順吉

五書評

国際仏教学大学院大学 二〇〇一年 五四―六九頁

- (1) 橋本芳契著『維摩經の思想的研究』
『仏教タイムス』一九六六年三月二十六日号
- (2) 山崎宏著『隋唐仏教史の研究』
『史学雑誌』七六編七号 一九六七年七月
七二―七八頁
- (3) 鍵主良敬『華嚴教学序説』
『中外日報』一九六八年七月二十三日号
- (4) 塚本善隆『中国仏教通史』(第一卷)
『宗教研究』四二卷一輯 一九六八年九月 九三―九九頁
- (5) 鍵主良敬著『華嚴教学序説―真如と真理の研究―』
『仏教学セミナー』第九号 一九六九年五月
五六―六一頁
- (6) 玉城康四郎『中国仏教思想の形成』
『鈴木学術財団研究年報』八号 一九七二年三月
九五―九七頁
- (7) 樽林皓堂編『道元禅の思想的研究』(一)―(四)
『中外日報』一九七三年十二月二十六日・二十七日
一九七四年一月九日・二十二日号
- (8) 現代に生きる唯識と禅
―緑陰新書『仏教の心と禅』太田久紀著―
『禅の友』三三五号 一九七六年九月 九頁
- (9) 小川弘貫博士遺著『中国如来蔵思想研究』
『中外日報』一九七六年十二月八日号
発刊にちなんで
- (10) 金達寿『行基の時代』
『東京新聞』一九八二年四月二十六日号

- (11) 福永光司『道教と日本文化』
『日本経済新聞』一九八二年五月九日号
- (12) 国書刊行会刊『韓国仏書解題辞典』
『中外日報』一九八二年九月二十七日号
- (13) 『歴朝名画観音宝相』(台北・大乘文化出版社)
『中外日報』一九八三年六月二十七日号
- (14) 中吉功編『韓国曹溪禅への招待』
『中外日報』一九八三年八月二十六日号
- (15) 山本七平・増原良彦『色即是空の研究』
『日本経済新聞』一九八四年十一月十一日号
- (16) 藤田宏達著『善導』
『北海道新聞』一九八五年二月十九日号
- (17) 『山岳霊場巡礼』を読んで「久保田展弘著書」
『波』(新潮社) 一九卷二号 一九八五年二月
五八―五九頁
- (18) 光地英学著『親鸞教学と道元禅―浄土教と禅―』
『駒澤大学仏教学部論集』一六号 一九八五年十月
三九二―三九五頁
- (19) 村木弘昌著『医僧白隠の呼吸法』
『宗教新聞』一九八六年三月一日号
- (20) 福永光司著『道教と古代日本』
『中外日報』一九八七年五月二十七日号
- (21) 太田久紀著『唯識三十頌要講』
『中外日報』一九八九年十月二十七日号
- (22) 袴谷憲昭著『本覚思想批判』
『宗教情報』四一号 一九九〇年二月 一一五頁
- (23) 曹洞宗青年会編『禅へのいざない』(大東出版社)
『仏教タイムス』一九九一年五月二十五日号
- (24) 久保田展弘著『神の山へ』(山と溪谷社)
『静岡新聞』一九九三年六月六日号
- (25) 中国仏教図書文物館編『妙法蓮華経』
『中外日報』一九九五年七月二十日号
(上下二巻、房山隋唐石刻、一九九四年十二月)
- (26) 『五台山佛教史』书评
『五台山研究』二〇〇〇年四期 二〇〇〇年 四二頁

六 著書の外国語訳

- (1) 『中國佛教史』
關世謙譯 新文豐出版社 一九八二年十月
二八九、四一、「二〇」頁
關世謙譯『普門』第四卷第九期以下連載
一九八三年六月
- (2) 中國禪
關世謙譯 佛光出版社 一九八四年一月 二、三二六頁
武陵出版社 一九八四年 二〇二頁、圖版
鄭舜日譯 經書院 一九八五年三月 三二六頁
關世謙譯 佛光出版社 一九八五年九月
一〇、四六〇頁
- (3) 『八宗綱要』 (佛光概論叢書 二〇〇〇)
關世謙譯 佛光出版社 一九八四年一月 二、三二六頁
- (4) 『沈黙的教義 維摩經』 — 心淨則佛土淨 —
武陵出版社 一九八四年 二〇二頁、圖版
鄭舜日譯 經書院 一九八五年三月 三二六頁
關世謙譯 佛光出版社 一九八五年九月
一〇、四六〇頁
- (5) 『中國佛教史』
關世謙譯 佛光出版社 一九八五年九月
一〇、四六〇頁
- (6) 『中國佛教通史』 第一卷
關世謙譯 佛光出版社 一九八五年九月
一〇、四六〇頁
- (7) 『中國禪』 — 初期禪師三十選 —
金無得譯 經書院 一九八六年三月 二〇一頁
關世謙譯 佛光出版社 一九八六年四月
四、二、四九四頁
- (8) 『中國佛教通史』 第二卷
關世謙譯 佛光出版社 一九八六年四月
四、二、四九四頁
- (9) 『簡明中國佛教史』
鄭彭年譯 上海译文出版社 一九八六年十月 三二七頁
關世謙譯 佛光出版社 一九八六年十二月
六、五八三頁
- (10) 『中國佛教通史』 第三卷
關世謙譯 佛光出版社 一九八六年十二月
六、五八三頁
- (11) 『華嚴의思想』 (다르마총서 二二)
韓炯曹譯 高麗苑 一九八七年五月 二〇四頁
鄭彭年譯 谷風出版社 一九八七年
- (12) 『簡明中國佛教史』
關世謙譯 佛光出版社 一九八七年

- (13) 『中國禪』 (佛光史傳叢書 三三〇〇)
關世謙譯 佛光出版社 一九八七年
四、二四八頁、圖版
- (14) 『韓國佛教史』 (깨달음 총서 一)
申賢淑譯 民族社 一九八八年一月 三一頁
- (15) 『簡明中國佛教史』 (世界佛學名著譯叢 四二)
華宇出版社 一九八八年
- (16) 『天台思想入門』 (佛光概論叢書 二二〇〇)
轉瑜譯 佛光出版社 一九八九年「二四」、一八一頁
一九九〇年十二月
- (17) 『中國佛教通史』 第四卷
關世謙譯 獅子吼雜誌社 一九九一年十月
- (18) 『大乘起信論的義理與實踐』
關世謙譯 善導出版社 一九九一年十月
- (19) 『대승기신론이야기』 — 중국 불교의 실천자들 —
章輝玉譯 圖書出版長丞 一九九一年十二月 三一八頁
- (20) *Zen and Aikido*
Shigeo KAMATA, Kenji SHIMIZU, Aiki News,
Jan. 1992. viii, 163p, illus.
- (21) 『中國佛教史』 一 — 初傳期的 佛教 —
章輝玉譯 圖書出版長丞 一九九二年四月 五〇七頁
- (22) 『화엄경이야기』 (『華嚴經講義』)
章輝玉譯 圖書出版長丞 一九九二年七月 三八九頁
- (23) 『禪』 — 현대를 살아가는 길 —
楊氣峰譯 대원정사 一九九二年七月 三一七頁
- (24) 『一九九一年佛學研究論文集』
佛光文化事業有限公司 一九九二年九月 五五二頁
(文選叢書 五八〇六)
- (25) 『華嚴經講話』 (佛光經典叢書 一六〇〇)
慈怡譯 佛光出版社 一九九三年一月 八、三四四頁
- (26) 『中國佛教通史』 第四卷 (佛光史傳叢書 三〇〇五)
佛光出版社 一九九三年二月 二、三、四七〇頁
- (27) 『中國佛教史』 二 — 受容期的 佛教 —
章輝玉譯 長丞出版社 一九九三年十一月 四九九頁

- (28) 『四大名山的故事』 (生活禪話 四一) 關世謙譯 圓明出版 一九九五年一月 二二三頁
- (29) 『중국불교사』 三 — 南北朝의 佛教 (上) — 章輝玉譯 도서출판장승 一九九六年四月 五七一頁
- (30) 『華嚴經講話』 慈怡譯 佛光文化事業有限公司 一九九七年九月
- (中國佛教經典寶藏精選白話版 六四)

七 論文の外国語訳

- (1) 華嚴五教章圓通鈔研究 『國際佛教學術會議第五屆 — 亞洲佛教的源流 —』
佛光山中國佛教研究院主編 中國佛教研究院
一九八二年
- (2) 外國學者心目中的中國禪 關世謙譯 『普門雜誌』 四五號 一九八三年六月
六一八頁
- (3) 中國禪 (二) 關世謙譯 『普門雜誌』 四六號 一九八三年七月
八一—一〇頁
- (4) 明代文化的傳播者 — 隱元隆琦 — 楊曾文 呂文忠譯 『世界宗教研究』 一九八三年四期
一九八三年十一月 七七—八〇、一二二頁
- (5) 絕觀的行者 — 牛頭法融 — 關世謙譯 『普門雜誌』 五八號 一九八四年七月
一四—一六頁
- (6) 中国佛教的时代划分 李步嘉译 『中国史研究动态』 一九八四年一〇期
一九八四年 二一—二三頁

(7) 佛教傳入中國途徑的再商榷（講詞）

『華梵佛學年刊』第二・三期 一九八四年
二六三—二六六頁

(8) 中国佛教的特徵

隆藏译『法音』一九八五年六期 一九八五年一月
二二—二五頁

(9) 沈默之教的維摩經

關世謙譯『獅子吼』二五卷二期 一九八六年三月
二八—三六頁

(10) 在中国撰写碑文的日本僧——邵元的伟业——

『世界宗教研究』一九八六年二期 一九八六年六月
一七—二四頁

（再録）

『中日佛教研究』

中国社会科学院世界宗教研究所佛教研究室編

中国社会科学出版社 一九八九年四月 三五—四〇頁

（再録）

『中日佛教学术会议论文集（1985-1995）』

鎌田茂雄 杨曾文編 中国社会科学出版社

一九九七年五月 三二—三六頁

(11) 佛教傳入途徑的再考證

關世謙譯『獅子吼』二五卷六期 一九八六年七月
三三—三七頁

(12) 佛道二教的混淆形态

杨小凤譯『世界宗教资料』一九八七年一期
一九八七年三月 三二—三五頁

(13) 佛教入華經路的再考證

關世謙譯『食貨月刊』一六五卷五・六期

(14) 禪與日本武道
一九八七年四月 二五〇—二五五頁
『中日第二次佛教學術會議論文』

(15) 东亚地区佛教圣地五台山和五台山信仰在日本的传播
『法音』 学术版 第一辑 一九八七年十二月
中国社会科学院世界宗教研究所 一九八七年十月

(16) 中國的華嚴思想
六八—七〇頁
李世傑譯『佛教思想——在中國的開展——』第二冊
玉城康四郎編 幼獅文化事業公司 一九八七年

一五九—一九二頁

(17) 东亚地区佛教圣地五台山和五台山信仰在日本的传播
『五台山研究』 一九八八年三期 一九八八年 四—六頁

童斌译『世界宗教研究』 一九八八年一期
一九八八年三月 一八—二二頁

(再録)
『中日佛教學術會議論文集 (1985-1995)』

鎌田茂雄 楊曾文編 中国社会科学出版社

一九九七年五月 一一五—一二〇頁

(19) 唯心斗性起
鄭舜日譯『講座大乘仏教』三——華嚴思想—— 經書院
一九八八年十二月

(20) 中國佛教的特徵
『中國佛教史論集』 高雄義堅等著 藍吉富主編

(世界佛學名著譯叢 四七) 華宇出版社 一九八八年
二二—二三八頁

(21) 華嚴學的典籍及研究文獻

『華嚴學論集』 宇井伯壽等著 藍吉富主編

(世界佛學名著譯叢 六一) 華宇出版社 一九八八年

二九一—二七六頁

(22) 安陽石窟的思想史上的意義 (上)

許明銀譯『獅子吼』二八卷四期 一九八九年四月

二〇—二三頁

(23) 安陽石窟的思想史上的意義 (下)

許明銀譯『獅子吼』二八卷五期 一九八九年四月

二八—三一頁

(24) 중국의 화엄사상 (中國の華嚴思想)

鄭舜日譯『中國佛教의 思想』民族社 一九八九年五月

二五—六〇頁

(25) 體會真如空諦

關世謙譯『獅子吼』二八卷六期 一九八九年六月

四—四五頁

(26) 中國佛教的歷史特性

王亞榮譯『學術動態』一九八九年九期 一九八九年

(27) The Transmission of Paekche Buddhism to Japan

Kyoko Tokuno tr., *Introduction of Buddhism to*

Korea: new cultural patterns.

Lewis R. Lancaster and C. S. Yu eds., (*Studies in*

Korean religions and culture v. 3) Asian Humanities

Press, Berkeley, 1989. pp. 143-160.

(28) 連結中日韓三國之^和^的文化

林景淵譯『東方雜誌』二三卷一〇期 一九九〇年四月

一九—二四頁

(29) 华严思想的接受形态

——中国、朝鲜、日本华严的特点——

(再録)

曹章祺译 『世界宗教研究』 一九九〇年二期

一九九〇年六月 一九—二四頁

『中日佛教学术会议论文集 (1985-1995)』

鎌田茂雄 杨曾文編 中国社会科学出版社

一九九七年五月 一七五—一八二頁

(30) 佛教的自然觀 ——自然界與人類的和諧相處——

劉姿含譯 『菩提樹』 四五六期 一九九〇年十一月

二一—二三頁

(31) 中國佛教研究的問題點

許明銀譯 『佛學研究入門』 平川彰等著 法爾出版社

一九九〇年 二七九—三〇一頁

(32) 東洋的自然景觀 ——自然和人類的調和——

『一九九〇年佛光山佛教學術會議實錄』 佛光出版社

一九九一年四月

(33) 《华严经》的构成和思想 (正)

黄玉雄节译 『五台山研究』 一九九一年一期 一九九一年

五—一〇頁

(34) 《华严经》的构成和思想 (续)

黄玉雄节译 『五台山研究』 一九九一年二期 一九九一年

九—一五頁

(35) 《华严经》的构成和思想 (续二)

王吉祥译 『五台山研究』 一九九一年三期 一九九一年

一一—一六頁

(36) 东亚的佛教交流 ——以十至十三世纪 (宋代) 为中心——

高洪译 『世界宗教研究』 一九九二年二期

一九九二年六月 七—一二頁

(再錄)

- 『中日佛教学术会议论文集 (1985-1995)』
鎌田茂雄 杨曾文編 中国社会科学出版社
一九九七年五月 二四五—二五二頁
- 戴燕译『中国文化』六期 一九九二年八月
六九—七四頁
- 『首届国际法门寺历史文化学术研讨会论文集』
一九九二年十月
- 關世謙譯『諦觀』七三期 一九九三年四月
一九—三六頁
- (37) 禅思想的形成和发展
一九九三年七月
二九—八一頁
- (38) 贤首大师法藏与法门寺
關世謙譯『諦觀』七四期 一九九三年七月
二九—八一頁
- (39) 日本文化與華嚴經「—華嚴思想概論 序章—」
『国故新知 —中国传统文化的再诠释—』
汤一介編 北京大学出版社 一九九三年八月
- (40) 《華嚴經》是什麼？ —華嚴思想概論 第一章—
東亞細亞佛教研究 一号 一九九三年九月
關世謙譯『諦觀』七五期 一九九三年一〇月
九五—一一八頁
- (41) 兩位澄观 —泗州澄观与清涼澄观—
關世謙譯『諦觀』七六期 一九九四年一月
七七—一二九頁
- (42) 韩国華嚴의 特質
刘建译『世界宗教研究』一九九四年二期
- (43) 華嚴宗的成立 —華嚴思想概論 第二章—
劉建译『世界宗教研究』一九九四年二期
- (44) 華嚴思想的核心 —華嚴思想概論 第三章—
劉建译『世界宗教研究』一九九四年二期
- (45) 鳩摩罗什对东亚佛教史的影响
劉建译『世界宗教研究』一九九四年二期

- (46) 華嚴思想的流傳 — 華嚴思想概論 第四章 —
 關世謙譯『諦觀』七七期 一九九四年四月
 三三一—六六頁
 一九九四年二月 三四—三九頁
- (47) 中國佛教的「花與悟」
 『一九九四年佛學研究論文集 — 佛與花—』
 佛光山文教基金會主編（佛光文選叢書 五八〇九）
 佛光出版社 一九九六年二月 一二四—一五一頁
- (48) 宗密的三教觀 — 以《原人論》為中心 —
 楊曾文譯『世界宗教研究』一九九六年二期
 一九九六年六月 六一—一〇頁
- (再錄)
 『中日佛教學術會議論文集 (1985-1995)』
 鎌田茂雄 楊曾文編 中國社會科學出版社
 一九九七年五月 四二四—四二九頁
- (49) 隋唐世的佛教狀況
 關世謙譯『妙林雜誌』八卷六期 一九九六年六月
 二四—三一頁
- (50) The teachings of Shakyamuni
Zen Quarterly, Vol. 8, No. 3 November 1996.
 pp. 2-5.
- (51) Buddhism during Koryŏ
Buddhism in Koryŏ: a royal religion.
 Lewis R. Lancaster, Kikun Suh and Chai-Shin
 Yu eds., Institute of East Asian Studies, Center for
 Korean Studies, Berkeley, 1996. pp. 35-66.

- (52) 海东天台的形成——朝鲜佛教与《法华经》——
刘建译『世界宗教研究』一九九八年二期
一九九八年六月 六〇—六四页
- (53) 禅的源流
黄玉雄译『五台山研究』一九九九年三期
一九九九年 三九—四六页
- (54) 大漠传道
黄玉雄译『五台山研究』一九九九年四期 一九九九年
三六—四三页
- (55) 近代日本的中国佛教史研究
圣凯译『法音』（月刊）第一八六期 二〇〇〇年二月
二五—二九页
- (56) 二一世纪的佛教
『世界宗教研究』二〇〇〇年二期 二〇〇〇年六月
一〇四—一〇七页
- (57) 天台圣地
黄玉雄译『五台山研究』二〇〇〇年四期 二〇〇〇年
三〇—三四页
- (58) 宗密之後的華嚴宗
依昱译『普門學報』三卷 二〇〇一年五月
六九—一〇〇頁